

ベトナムにおける戦略的加工食品の創出と本邦食品関連ビジネスの進出促進のための情報収集・確認調査

国名	ベトナム社会主義共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 東南アジア・大洋州部
事業分野	農村開発
実施期間	2011年7月から約6ヶ月間



©The World Factbook

事業の背景

ベトナムでは、特に都市部の経済成長によって野菜、果物、肉、水産品などの消費量が増加しており、それら付加価値の高い農産品生産への転換が農業所得を向上させるための政府の重要な施策となっていました。こうした状況の中、日本企業が積極的に海外における農業・食品加工・物流事業に進出することは、ベトナムにとって農業生産の拡大、農家所得の向上、食品加工業における雇用機会の増加が見込まれ、日本にとっても、日本企業の海外展開、食の安全、安心や食糧の安定供給の観点から望ましいことでした。

事業の内容

本事業では、農業が盛んなメコン地域のベトナムを対象に、農業・食品加工・物流・食の安全等に関する基礎情報の収集・分析および関係諸機関との協議を踏まえ、ODA 事業での協力のみならず、日本企業と ODA 事業、現地政府・企業等との連携も対象とした「当該地域における戦略的加工食品」の創出と「本邦食品関連ビジネスの進出促進」に関する協力の方向性を検討することを目的としました。

具体的には、日本国内の食品加工業者等への聞き取り調査を通じて有望な加工食品の抽出、加工食品ビジネスの課題、衛生管理に関する制度の課題の把握を行い、現地業務において、加工食品の主要原材料作物の生産状況、加工状況、関連制度、物流体制について、アンケート調査、現地関係機関・企業への聞き取りを通じた基礎情報の収集・分析を行いました。これに基づき、i) 食品加工原材料の安定確保と輸送の方法、ii) 食品加工地の規模・立地場所、iii) 必要な物流インフラ施設、iv) 必要な法制度について検討し、加工食品の有望な投資分野、候補案件群の抽出を行いました。



エビ加工工場における皮むき作業の様子



ベトナムの米粉製造工場